

がんの検診率の向上には自主的な受診意識の高揚が大切であり、個別勧奨や再勧奨などの普及啓発を積極的に取り組み、町民一人ひとりの健康寿命の延伸を目指してまいります。

これまでの研究から、喫煙することで肺がんをはじめとするさまざまながんの原因となることが、科学的にも明らかになっております。

また、たばこを吸わない方でも家族や周囲の方が吸うことで、受動喫煙による肺がんの原因となることが明らかになっております。

がんを予防するためには、たばこを吸わないことが最も効果的であることから、引き続き町内会館なども含めた公共施設の敷地内禁煙に取り組み、啓発活動を中心に町全体で受動喫煙防止活動の強化に努めてまいります。

町立診療所「やまゆりクリニック」については、町民の一次医療を担う医療機関として、安心して医療を受けられるような体制を図るとともに、経営の安定および健全化を目指してまいります。

また、町内の関係機関と連携を図りながら、高齢者の地域ケアの推進に取り組むとともに、各種がん検診に加え、特定健診の個別受診などの積極的な勧奨に努め、町民の健康増進に取り組んでまいります。

4 生活基盤が安定し、安心安全に暮らせるまちづくり

町営住宅および町有住宅については、入居者が安心して暮らせるよう、長寿命化の推進と、計画的な維持・管理に努め、引き続き快適な住環境を提供してまいります。

水道事業については、将来のインフラリスクの低減を図るため、老朽配水管などの設備更新を計画的に進めてまいります。

また、将来の人口減少に伴い給水収益の縮小が予想されることから、効率的で健全な企業経営に努め、安心・安全な水道水を供給してまいります。

浄化槽整備事業については、水洗化の普及による快適な居住環境の創出と大切な自然環境を守るとともに、公共水域の水質汚濁防止を図るため、引き続き補助制度を活用した事業の推進に取り組んでまいります。

道路は、自動車や歩行者などの通行・交通機能をはじめ、町や地域をつくり、防災、環境といった空間機能を有しており、日常生活に密着な関係にあります。

これらの基盤となる国道および道道については、適切な維持管理や道路改良の早期実施に向けて、引き続き関係機関に要請してまいります。

なお、白神防災道路の早期実現に向け、松前町と連携しながら国や道などの関係機関へ要請活動を行ってまいります。

町道の改良および橋梁^{きょうりょう}などについては、強靱化や長寿命化を図るため、関連する計画に基づき緊急性や優先度を勘案し整備を進め、安全・安心な社会資本整備を引き続き計画的に実施してまいります。

また、冬期間の除雪については、町民の皆さまの協力を得ながら、冬道の通行の安全確保に努めてまいります。

防災関連では、阪神・淡路大震災から31年、東日本大震災から15年が経過し、直近では令和6年1月の能登半島地震および昨年12月には青森県東方沖を震源とする大きな地震が発生するなど、毎年のように大きな地震が頻発しております。

町では、このような状況を踏まえ、令和7年度末までに策定する津波避難対策計画に基づき、防災拠点である役場庁舎の非常用電源の浸水対策や旧吉岡温泉施設跡地に一時避難場所として防災広場を整備するなどの準備を進めてまいります。

また、防災資機材については、国の令和7年度補正予算として新たに新設された「地域未来交付金(地域防災緊急整備型)」を活用し、指定緊急避難所の生活環境向上を図るための移動式エアコンの導入や津波一時避難場所2カ所に備蓄品コンテナを整備してまいります。

今後においても引き続き町内会や地域の皆さま方と協力しながら、防災訓練や町広報による啓発を通じ地域防災力の向上に努めてまいります。



ゼロカーボンの実現に向けては、普及活動を実施することで機運の醸成を図るとともに、脱炭素に向けた取り組みが全町的な広がりを見せるような施策を展開してまいります。